

心も体も元気になるおいしい野菜を届けたい 小笠原農園(幕別町)

【有機農業に取り組む小笠原御夫妻】



◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 食への興味から、職員として長年勤めた役場を退職し、妻・美奈子さんとともに平成24年に就農。
- ◆ 「心も体も元気になるおいしい野菜を生産したい」と、就農当初(経営面積5ha)から有機栽培を目指す。
- ◆ 有機栽培転換後の数年間は収量が安定せず、苦労を重ねた。現在は、18haまで作付規模を拡大し、畑作物と野菜類を安定して生産。
- ◆ 「安心して食べてもらえるものを提供したい」との願いから、平成28年に有機JAS認証を取得。
- ◆ 「新鮮な野菜をもりもり食べてほしい」との思いから農産物直売所(平成25年開店)を改装し、令和2年7月、カフェ「やさい屋カフェ菜びより」を開店。
- ◆ 令和3年12月、十勝総合振興局において設立された「とかちオーガニック振興会」に参画し、有機農業に関する情報交換や仲間作りを開始。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 有機農産物の販売先をどう確保するか。
⇒ 飛び込み営業での試食依頼を行いながら、独自の販売網を開拓。契約出荷により安定した収入を確保。
- 安定しない農産物の収量や販売収入。
⇒ 土作り、病害発生 of 早期予見、トラクターの自動操舵システムを活用するなど工夫を重ね、豆類作では慣行栽培並みの収量を確保。

【組織等の概要】

- 代表者：小笠原 保
- 所在地：北海道中川郡幕別町字南勢
- 経営概要：
有機農産物の生産(全ほ場(18ha)有機JAS認証取得)、有機農産物直売所、カフェを経営。
- 主な農産物：
畑作物(小麦、豆類、ばれいしょ)、野菜類(レタス、アスパラガス、リーキ(西洋ねぎ)など約30品目)
- 主な販売先：
イオングループ、コープさっぽろ、幕別町給食センターほか
- URL：<http://oga-farm.net/>



【カフェの目印】

【取組の成果】

- 有機JAS認証を取得
Point→拡大する認証取得面積
平成28年 4ha⇒令和2年18ha
- 「やさい屋カフェ菜びより」を令和2年7月に開店
Point→「野菜が主役」になるカフェの開店を目指し、農産物直売所を改装。現在では、自社農園の有機野菜等をカフェで提供するとともに併設する有機農産物直売所で販売。



有機野菜たっぷり
のランチメニュー

【活用した支援施策】

- 環境保全型農業直接支払交付金
- 畑作物の直接支払交付金

【今後の展望】

- 有機農産物の消費を拡大するためにも、学校給食の「月イチオーガニック給食運動」といった出口対策の実現に向け尽力したい。